SWOT分析

Strengths　強み	Weaknesses　弱み
●環境ニーズを先取りする製品開発力 ●グループの総合力を生かした合理的な製造・物流・原材料調達機能	●価格変動が大きい原材料の比率が高く、収益への影響を受けやすいビジネス構造 ●国内造船ではシェアを維持するも、中韓造船のシェアが高くない
Opportunities　機会	**Threats　脅威**
●長期的に右肩上がりで増加する世界の海上輸送量 ●環境規制強化およびESG投資の拡大に伴う環境配慮型塗料ニーズの高まり	●市況および船主経済の変動 ●コロナ禍による運航スケジュールの不安定化とドックの遅延

代表取締役社長
白幡 清一郎

市場の見通し

海運量は右肩上がりで今後も安定成長。2021年以降、建造需要の増加および海上運賃の上昇が期待され、塗料需要の増加を見込む

2021-2023年度の戦略骨子

先端環境製品を提供するメーカーとしてグローバルに認知され、競合他社にとって脅威となる存在へ

日本ペイントマリン株式会社（NPMC）

日本ペイントグループの創業事業であり、2021年度に140年の歴史を刻む。船舶用塗料の製造・販売などをグローバルに手掛け、新造船から補修船まで、国内外で一貫した供給体制を確立。当社グループの総合力を生かした研究開発を通じ、優れた先端環境製品を開発・提供。SDGs・ESG視点を経営の中核とした価値創造を行い、世界で認められる企業を目指す。

2021-2023年度の成長戦略

2023年度までの新中期経営計画の3本柱として、「グローバル事業の拡大」「業界再編が進む日本造船への取り組み」「先端環境製品の開発」を掲げています。

「グローバル事業の拡大」については、次世代の船底防汚塗料「FASTAR」の本格展開による市場競争力の強化と売上・シェアの拡大、合弁事業基盤を活用した欧州・中東での修繕ビジネスの拡大、オセアニア船舶市場およびアジア汎用船舶市場への推進を図ります。

また、売上・シェア拡大のキーとなる船底防汚塗料の安定供給を実現するため、グローバルサプライチェーンマネジメントを強化していきます。市況の影響に左右されない体制を目指すべく、NIPSEAグループをはじめ海外パートナー会社との協働によって技術・物流・生産・原料調達面で最適化を図り、グループとしての利益追求を目指します。

「業界再編が進む日本造船への取り組み」においては、顧客との関係構築・強化に注力し、戦略製品を通して新しい価値を提供するとともに、確実に収益確保できる体制を構築します。

「先端環境製品の開発」では、海洋への防汚剤の溶出削減による環境負荷低減、船舶によるCO_2排出量の削減に貢献する製品に注力します。長期的な観点では「海洋汚染ゼロ」の船底防汚塗料の開発も進めていきます。2023年には、防汚性の発現メカニズムを見出し、基礎試験から製品開発段階に移行できている状態を目指します。

また、臨海評価技術センター（岡山県玉野市）において、海洋環境や船舶運航状況などのビッグデータを活用した性能予測方法の研究に着手しました。同拠点を先端技術の発信拠点としても活用し、海外大手顧客との情報交換、市場ニーズの探索と次期開発テーマの抽出などを行っていきます。

コロナ禍で注目される抗ウイルス塗料については、船舶関連でのニーズを検討した上で、認証取得やパッケージング化を進めます。

その他、船舶塗料で培った防食技術を応用し、今後需要が高まる見通しの洋上風力発電向けの塗料事業を推進します。